

調布市 市民参加プログラム

～ “参加” と “協働” のまちづくりを進めるために ～

- 本 編 -

本プログラムは...

市民のみなさんの知恵と力を活かす

“参加” と “協働” によるまちづくり

を实践するうえでの約束事と取り組み方を示しています。この手引書を市民と市がお互いに共有しながら，市民参加の第一歩として位置づけ，推進していきます。



はじめに...

~まず、共通の認識を築きましょう！~



市民参加と協働の必要性

『市民参加』と『協働』ってなぜ必要？

市民が主役のまちづくり

市民ニーズを反映した
地域性を活かした独自のまちづくり
の実現

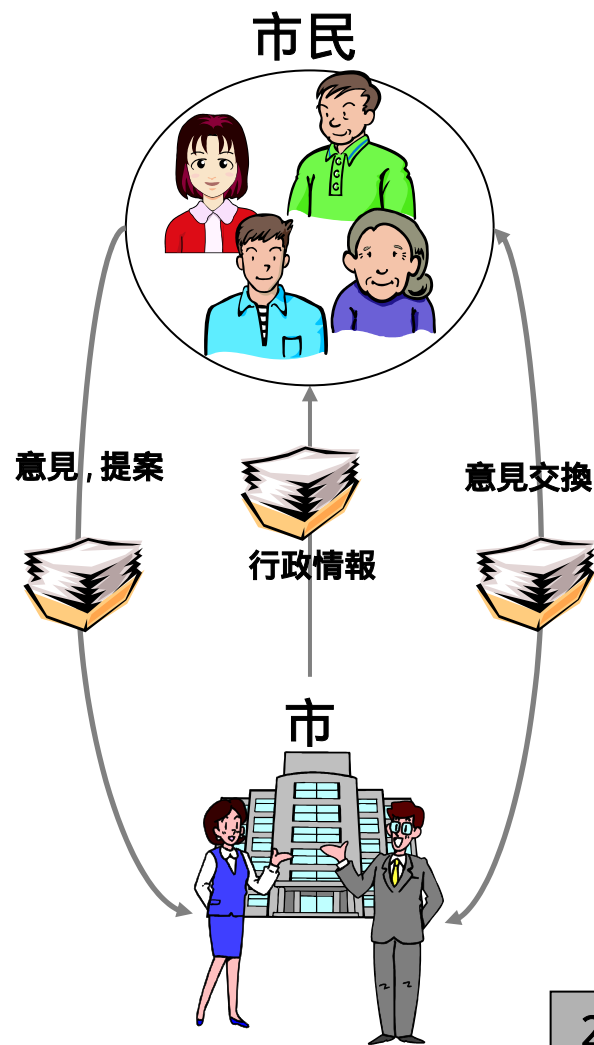
地方分権一括法
の施行

自己決定範囲
の拡大

特色のある
行政運営へ

市民ニーズの
多様化・高度化

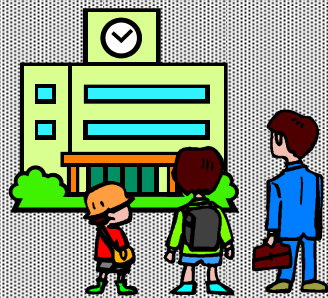
自治への関心



市民参加プログラムにおけることばの使い方 『市民』って誰をさすの？

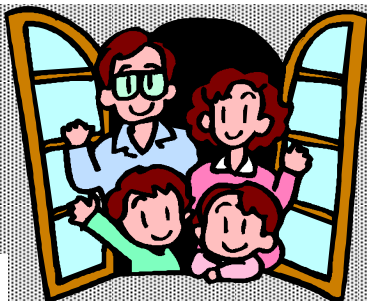
市内に住所を有する者，市内に勤務する者，市内の学校に通学する者，市内に事務所または事業所を有する団体等とします。
ただし，市民参加の対象とする施策の内容や採用する市民参加手続によっては，その施策に対して興味や関心のある人を含む等，広い解釈をする場合もあります。

調布市民とは...



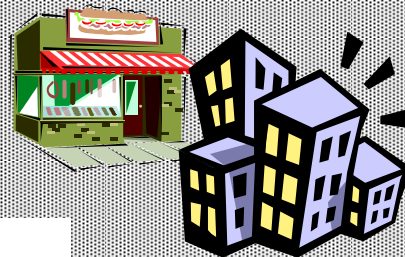
市内に
通学している人

市内に
住んでいる人



市内に
通勤している人

市内の
事務所，事業所



市民参加プログラムにおけることばの使い方

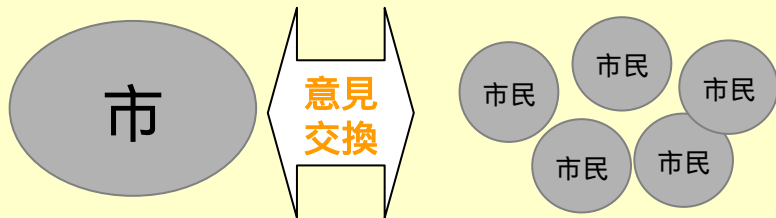
『市民参加』と『協働』って何？

『“参加”と“協働”によるまちづくり』は，“市が実施すべきこと”にさまざまな形態で市民が係わりながら，まちづくりを進めていこうという考え方です。

参加

市のさまざまな行政活動（構想・計画段階から実施，評価に至るまで）に関して，自らの権利と義務を自覚しながら意見や考えを述べること。

施策によっては，実際の行動を伴う場合もあります。



協働

市民・市民活動団体・NPO等と市が対等の立場に立ち，共通の目標に向かってそれぞれの役割と責任を自覚し，お互いが協力しあって取り組むこと。

なお，意見が異なった時に，お互いの意見を尊重し合意形成に努めることが協働を進めるうえで重要なことと考えます。

パートナーシップのルール

- お互いが対等の立場に立つこと
- お互いの自主性を尊重すること
- お互いに相互理解に努めること
- お互いに目的を共有すること
- お互いに情報の共有と提供に努めること
- お互いに対話の場づくりに努めること

